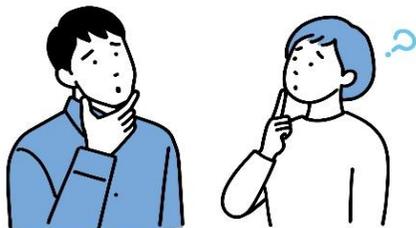


**2025年 JAC外国人共生講
やさしい日本語講座（基礎編）Q&A集**

株式会社BREXA CrossBorder

〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1-14-8 梅田北ブレイス 2F

crossborder.brexa.com

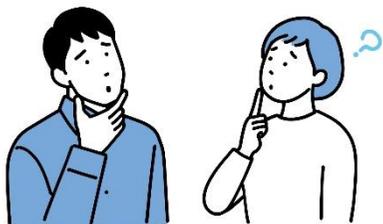


カタカナ語が伝わりやすい国、伝わりにくい国を教えてください。

自国でも英語の単語を多く使っている国では、比較的伝わりやすいです。
フィリピンでは、道具の名前から病気の名前まで、多くのケースで英単語がそのまま使われています。そのため、カタカナ発音でも比較的伝わりやすいです。
インドネシアの方も、比較的伝わりやすいです。

ベトナムでは英単語があまり使われないため、カタカナ語は伝わりにくいです。
また、英語の発音もかなり日本人とは異なりますので、カタカナ語は別途教育する必要があります。





外国人従業員を病院に連れて行く際に、痛みや症状を先生に伝えるときや、日本語の問診表を翻訳するのに困っています。

(ズキズキやジンジンなどの表現を、どう伝えて良いのか困る)

痛みなどはパーセンテージで表現していただくとより分かりやすくなるかと思います。

外傷があれば写真で記録してもらうなどすると分かりやすいです。

オノマトペなどの医療用語・問診票を各国語ややさしい日本語に翻訳したものがWeb上で発表されていますので、ご参考ください。

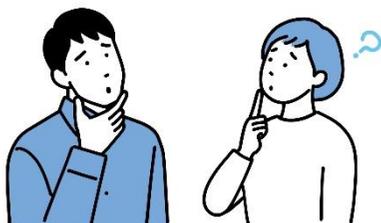
【参考】外国人向け多言語説明資料 一覧 | 厚生労働省 (厚生労働省)

多言語医療問診票 (神奈川県国際交流財団)

また、緊急時に備え「指差し」で意思疎通ができるようなツールを常備していただくことをお勧めしております。

【指差しツールの例】





日本語ができず、仕事も覚えられない技能実習生に対する声掛けはどうしたらいいですか。

日本語が苦手でも、全く話せないというケースはほとんどないかと存じます。分かる言葉から話かけ、こちらがあきらめていない姿勢を見せることが重要です。少し時間はかかりますが、お互いに通訳者に依存しないよう注意します。

(通訳者への依存は、日本語での実践の機会を損失してしまうため)

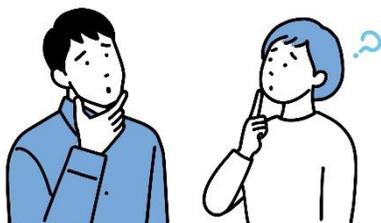
一方で、仕事のポイントや悩みの聞き取りは、通訳者に入ってもらい、なるべく本人の言い分や気持ちにしっかり耳を傾ける時間を設けるように心がけます。

日本語でのコミュニケーションの前提には、こうした信頼関係の構築が重要です。

翻訳機などを使った雑談は長く続かずとも、仕事中は必ずやり取りが発生します。

日本語でも、仕事でも、できることが増えれば、褒めてやる気を引き出すことを心がけてみてください。





技能実習生の方に毎日話しかけるとしたら、 どのような内容の話をするといいですか？

写真や動画を活用して「母国の話」を聞くと、嬉しそうに説明をしてくれます。
相手が自分に興味をもってくれていると感じると、万国共通で喜ばれるのではないのでしょうか。
また、少し難しい話をするとう達成感も得られますので、NHK News Web Easyなど
やさしい日本語を使ったニュースサイトを話題にしてみるのもおすすめです。

『今日覚えた言葉』をテーマにしてもいいですね。

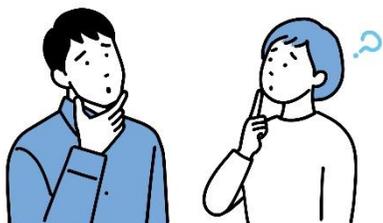
技能実習生の方々は、出身地や個人差はあるものの、親族や近隣住民との距離が近く、
世代差を気にせず世話話なども楽しめる方が多い印象です。しなしながら、日本語力が不足
しているために思うように会話できない方が多いのも実情です。

目に見えるものすべてが、会話の練習に繋がります。

小さなことでも発話につなげる必要性を、互いに共有しておくとも良いかもしれません。

【参考】NHKやさしいことばニュース | NEWS WEB EASY





**間違った日本語は、意味が伝わっていても修正すべきでしょうか。
（「分かりました」を「分かりますた」と言っている、など）**

コミュニケーションに支障をきたすような大きな間違いであれば指摘しますが、小さい間違いはあまり指摘しないようにしています。

（相槌を打ちながら『わかりました』ですね、と自然な流れで言い直しています。）

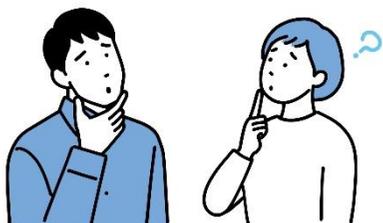
いつも間違いを指摘されていると、会話自体が怖くなってしまう可能性もあります。

一方で、自分では間違いに気付けないことが多いというのも確かです。

修正する場合は、重い空気にならないように気を付けながら、正しい言い方を伝えるように心がけると良いかと存じます。

※ 他のことで落ち込んでいるときや相談を受けた時には、寄り添いや傾聴を優先し、あえて言葉の修正はしないように気を付けています。





BREXAグループ内で実施している継続的に受講できる 良い日本語研修があったら知りたい

BREXA CrossBorderでは「外国人従業員向けの日本語教育支援」「日本人従業員向けのやさしい日本語・異文化理解促進支援」を承っております。

【実績例】

- ・外国人従業員の受け入れ後、月2回の日本語クラス
- ・マンツーマンの日本語会話練習クラス
- ・日本人従業員向けの異文化理解講座（やさしい日本語含む） など

企業様のご要望やご予算に応じて、柔軟なカスタマイズが可能です。

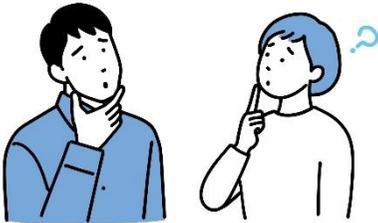
詳しくは、運営事務局までお問合せください。

【JAC外国人共生講座 運営事務局】

BREXA CrossBorder 三浦 : yu-miura@brexa.com 小川 : sa-ogawa@brexa.com



質問 (7)



日本での生活が長く日本語を使ったお仕事をされている方は、漢字をどのように覚えていったのでしょうか。

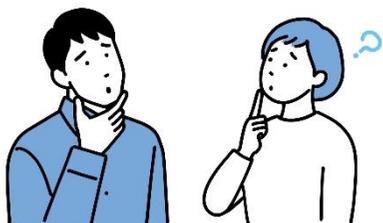
①読んで分かる ②変換できる この二点を中心に実践されている方が大多数です。JLPTやJFTは漢字を書く試験がないので、実は正確に漢字を書ける人はあまり多くはありません。

書いて覚えるよりも、漢字アプリなどを使ってJLPTなどの試験に即した方法で学ぶ方が多いようです。

他にも、同僚とメールでやり取りをしている、会社や同僚のSNSに漢字を使ってコメントをしてみるなど、日常的に工夫して学ばれているケースも。

漢字が好きな方ですと、漢字検定に挑戦している方もいらっしゃいますよ。





受け入れている実習生のレベルが違う場合、どのように日本語を教えたらいいでしょうか。おすすめの教材があれば教えてください。

まずはレベル分けをして、それぞれに合った指示や教材を使うことをおすすめします。共通の場面（掃除・報告など）を使って、日本語レベルに応じて表現を教えたり、視覚教材やジェスチャーで理解を助けるのも効果的でしょう。

【おすすめ教材】

初級：『いろどり 生活の日本語』シリーズ（国際交流基金）

実習生にも使いやすく、生活場面が豊富。無料ダウンロード可 (<https://www.irodori.jpf.go.jp/>)

中級：①『まるごと（中級）』（国際交流基金）

文化や考え方を学ぶトピックも充実。無料ダウンロード可 (<https://marugoto.jpf.go.jp/download/>)

②『できる日本語（初中級）』（アルク出版社）

職場で使える表現が多く、会話練習にも最適。購入 (<https://book.alc.co.jp/book/b10107577.html>)



BREXA
CROSS BORDER